

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい		[B 除いた共通語]	(1)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0840.33	meppa <多>	
0873.94	meboſi <子どもころ アイヌがそういついたので使った。>	
	hoſi <子どもの時>	
	meppa <そのあとで多く使った。>	
0789.95	baka <多>	mebo
0894.61	baſa(deſa) <多>	
	meppa <少> <このころ>	
0896.22	モノモライ <四国の人親達はメボと いった。>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (2)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0990.97	monomorai <他の者は meppaかぶつ>	
1699.14	メッパ 古	メボシ
1739.10	mebofi <普通>	monomorai
1739.85	meboro <ほかにいわない>	
1744.60	メッパ <子供時代に言った>	メボソ
1747.04	メボオ <多>	
	メッパチ 老 幼	
1793.14	バカ <バカデル>などという。	
1814.25	メッパ <少い>	メボ
1859.84	meppa <今も> *	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい		[B 除いた共通語]	(3)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
2761.44	mebosì (?) (念をおしたか 誤なしと言)	
2761.77	NK <自分も家人も患ったこと無し>	
2762.61	mepa 東北ゆえみじかくな? 現われ しとみる。(室員)	
2771.83	NR (mebosì と答えたので: 違う 旨 注意した。)	
2781.91	meba <?>	
	nome <これを普通使う>	
2783.48	mebosì (類似のなきものと混同?)	
2791.15	mebosì (?)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものらい 694		[B 除いた共通語]	(4)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
2791.88	jonome # (はじめは moraimé と自信なげに言った。)	
3609.47	nome <老>	jonome
3619.08	nome éは狭いe	
3688.82	more more <普通>	
	meppa <ジカタの言葉>	
3720.71	meppa (普通)	
	hoido とち	
3723.21	nome nomeは jonome (魚の目)	
	からの転なるらし。秋田一般は	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(5)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	jomomeは小さなフツツと出るはれものをいう。モノモライはホエドコ、ヤッコ	
3727.21	メナ (?)	
3730.43	hoedo 食食は jakko	
3737.32	メ	メッパジ
3741.16	hoëdo èは非常に狭いè <一軒おいて となりから にぎり めしをもらって食べると直る>	
3743.49	メ # (苦心して思い出した)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 688		[B 除いた共通語]	(6)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3746.09	nomi なおすきの呪文. nomi nomi hanero haji nakara hanekgero 藁で結んで. のち. 上の呪文をとな えながら その藁を火にくべる。	
3752.89	hoido (ホイド)	
3760.58	jakko (多)(普通)	
	hoido (トモイウ)	
3761.22	monomori (昔)	hoido
3770.96	menomori 左は誤記ではない。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(7)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3777.48	バカ [ ]	ノミ #
3780.65	fedoko (昔)	mono moral
3783.08	nomë eは非常に狭い	
3791.02	chedo ㊦ 乞食は jakko ただしchedo もよくわかる。	
3792.33	houdoko (下ふち)	
	dannasan (上ふち)	
3792.96	holdo (下のふちに出たもの)	
	dannasan (上のふちに出たもの)	
4619.23	mono <神様から水をもらって来た。つけと 直る>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( )は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 636		(B 除いた共通語)	(8)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A. 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
4638.22	méro méro éは狭いe へソの上に塩をつければいい。 とか、ゴムのくしで眼をなぞ ればいい。とかいう。	
4638.43	momore more more <とちうも 総称であり、又は 上まぶたにできたものもらい ある。>	
4648.42	meΦwɣuri more more <上> # <下> #	
4653.84	me'bu'ri このuは少しo寄り。	



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(9)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4654.52	mebo <国中地方は mego という>と	
4666.99	metʃi: metʃiri (は、きり おそく 発音したとき) (r音をおとす)	
4667.76	deba # (deba deru という)	
4672.19	me <u>b</u> uro やや me <u>g</u> uro に いたひら きが あった。	
4675.62	memorae # ! <古> (古いかどうか疑問)	
	meɸuŋguri <新> (新しいかどうか疑問)	
4676.39	mepatsi 付近から meppatsu に ぬ	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112	[B 除いた共通語]	(10)
項目名		[C 除いた特殊語]	
ものもらい 636			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	るが、トゴセンのもっとも外側	
	ゆえ 多少問題あり。(室員)	
4676.67	mekusare (?) (monomorai その他	
	をはくせんと総称してmekusare	
	と言うといったかはっきりしない。	
	monomoraiを知らぬか	
	その名を忘れたかしたのまは	
	なからうか。とにかく疑問な	
	ある。)	
4677.65	name	ω. oとuの中間音

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 05%		[B 除いた共通語]	(//)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4679.65	nome <モノモライなど聞いた事もない>	
4684.77	monome (?) #?	NR !
4687.01	meTpazm <下まぶたにできた物>	
4687.37	nome <上まぶたにできたもの>	
	monomorae <下まぶたにできたもの>	
	<米をもらってたいて食べれば なおる。米をもらい歩く時 橋を渡ってはいけない>と いう信仰があった。	
4689.86	nomi 誘	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) [ ]は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(12)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4695.19	フキ子 # ? (?) 類似の出来ものと間違えているのかも知れない。	
4695.33	monomorae <?><古いことはと思う> (?) meppatʃi <これを多く使う。子供の時から用いている。>	
4701.73	roudo (ホドとは乞食のことなり)	
4703.88	baga [! ] <下のまぶたにできたもの?> okjakusama <上のまぶたにできたもの?>	
4704.04	ノメ <古> バカ <新>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(13)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4711.41	nomé 〔〕<総称> (直り方が上睨 と下睨の場合に相違があるので この様に区別して <sup>ホト</sup> 乞食のメ、殿 様のメという由。その <u>メ</u> が総称 となった。)	
4711.49	バカ 一般	モノモラエ
4712.54	hoedo: <本当は乞食の意だが ものもら いの意に転用したもの>	
4714.22	baga <ことはマはないが たとえとして 上側のものは baga (馬鹿)>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(14)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
	下側のものは okjakw (お客) と言っている。> (?)	
4714.68	N.R. <自分はそのようなものができた 覚えがないからわからない>	
4721.36	nome [ ]	
4722.40	baka <古>	nome
4722.55	baka <ものもらいができる。利口 だからバカができた。と言っ からかう。>	
4723.14	mono 動詞的には mono deruu ともいっ。	baga

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112		
項目名		[B 除いた共通語]	(15)
ものもらい 036		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4730.45	baga <総称> <下睨にマたもの>	
4730.95	baqa (下まぶたに出ると)	
	menjo (上まぶたに出ると)	
4731.42	baga [ ]	(メンゴは馬鹿の反対 マ子供をほめる時 などつかう言葉。<バ ガという直らないか メンゴというすぐとれ るからメンゴという という。)>
	mēnjo [ ]<エ>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(16)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
4731.85	baga 〔 〕(バカというわけは、いじると おこるかららしい。人間のバカも ふれない。そっとしておいた方がよい)	
4736.63	baga 〈馬鹿の意 …… 上のまぶたにでき たもの〉	
4740.26	baga mengo 〈バカかぶつ。メンゴはからから いうようなときにつかう。〉 (バカ→馬鹿 メンゴ→可愛らしい人)	
4740.93	monomorae 隣家より米三粒もらえは なおるとの俗信あり。	



- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112	[B 除いた共通語]	(17)
項目名		[C 除いた特殊語]	
ものもらい 036			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4741.92	baga <上下睨による区別なし>	
4742.37	baga [ ]	
4742.43	hosti <目の中ではない。目のぶち モイ モライのことである。目の中のは kakarimono という。>	
	⑨ <ホシが出マ イス7マ 困る>	
4744.10	monomorae <この方が馬鹿らしくない感じ>	baga
4752.27	baga nome 両者のちがいがききたせなかった。	
4753.52	baga <希>	nome
4760.64	monomorae [ ]	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(18)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4761.07	mejo 〈上の語形は“馬鹿”であるから忌みかけ。このようにメゴ(可愛いのか?)と呼ぶことがある。〉	baka
4763.45	nome baka 〈どちらかと言えば、nomeを多く使うが、nomeとbakaについて内容上、用法上の区別はない。〉	
4773.15	nome #戸に豆を落とすと直る。	
4792.43	nome nomme あずきでさあて、それを#戸へあると直る。	
5471.59	メマンジョ 〈小〉〈まきもの的大小によってちがった言い方をする〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(19)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5507.09	megatane <新>	metšimpo
5536.29	imorai <古>	memorai
5538.50	メカクネ 特に大きいもの	メホロ
5548.58	memorai <新> (<新>はあくにならぬ)	metsumpo
5555.58	monomorai (?)	
5558.09	memurai <新>	metsumpo
5558.33	me:guri <希>	ju:mori, me:mori
5566.35	imore: <古>	imorai
5574.42	memoro <古>	memara

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112	(B 除いた共通語)	(20)
項目名		(C 除いた特殊語)	
ものもらい 036			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5575.93	memorai marota→眼の中にできる筋	
5579.42	metjimbo <下品なことは>	mekoziki
5579.79	メムラ <他. 稀>	メチンボ
5590.53	メイホ <少>	メホ
5594.02	me·bo 優位	monomoyal
5594.37	mebo 優位	
5595.89	メンボ <希>	メフウ
5599.75	コジキ <古>	モノムライ
5604.65	メッパツ <若い時代はこれを用いた>	モノモラエ
5605.70	monomone <古>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(21)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5606.83	meppatsu <上まふたに出来たもの>	
	monomurae <下まふたに出来たもの>	
5609.26	nome eは狭いe	
5611.39	metpasm <希>	
	metjokko ! <古> <子供の時使った>	
	monomora i <友人にも 共通語的場面 でも 多く用いる。ずっと 前から使った。>	
5613.48	monowri monomora e 字の他 の人はこれを多く用いる。 他の人がどういう種類の人か 不明。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(22)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5614.62	monomorae meɾpatsɯ	
	<p>&lt;上から下るものもある。この 二つの言い方は若い時から 両方とも使っている。 meɾpatsɯを使うことば やや多いかも知れない。&gt;</p>	
5615.28	meppatsɯ	
	<p>&lt;ものもらいが なおったあと まぶたが変形したものを いう。&gt; (pp音はF音の ひびきがある。)</p>	monomurae: #
5615.78	monomurae	
	<p>(まんなかのm音ははきり ひびかないようである。)</p>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(23)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5620.30	ebōra bō = フに近い。	
5622.48	monomono / 〈上流の人は monomurai と言う。〉	
5623.27	meppatsu 〈橋を渡らずに隣家へ行 き物をもらって食べると なめる。〉	
5623.85	meppatsure 〈目ハレルからださ!〉	monomorae
5625.91	meppatsu [monomurae]	
5628.70	モノモライ メカゴ 〈小さいきものをいう〉 〈大きいきものをいう〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (24)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5631.16	meppa [mekkodgi ki]	
5631.26	mekkoziki ?<希>	monomorai
5632.83	metšimbo (きわめてまじめな顔で答えた)	
5635.65	メカゴ<共>	
5638.53	モノモライ<多く使う>	メカゴ
5639.80	メカゴ<古>	
5641.07	metšimbo #<上へきたものを>	
	monomorai <下へきたものを>	
5641.99	mekkoziki <モノモライは聞くことはあるが、使ったことはない>	



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(25)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5642.31	mekkodziki <上>	metjimbo
5644.74	メカゴ <共>	
5645.43	メカゴ <古>	
5645.89	メケゴ <古>	
	メッパ <新>	
5647.56	メカゴ <古>	
5648.53	メケゴ モノモライ <同程度に使用>	
5648.96	メケエゴ <古>	モノモライ
5652.37	mekoziki [ ]	
5652.81	mekkoziki [monomorai]	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(26)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)		A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5653.42	mekodziki	#(第三者. おはあさんに言われ れ<そうそう>と同意)	mekago
5654.94	メカゴ	<古>	モノモライ
5655.41	メカゴ	<古>	メッパ
5655.57	メッパ	<共>	
5657.53	メカイゴ	<多>	モノモライ
5657.73	メカイゴ	<共>	
5658.89	メカイゴ	<古>	モノモライ
5659.42	メカイゴ	普通の言い方	モノモライ
5659.46	モノモライ	一般に使用	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(27)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	メケゴ メカイゴ 老人が多く使う	
5664.58	メカゴ <多>	モノモライ
	メッパ <多>	
5665.11	メパッジキ コジキが加わるか (室員)	
5665.12	メッパ <多>	モノモライ
5665.89	メカイゴ <古>	モノモライ
5666.10	メカゴ <多>	モノモライ
5666.18	メケゴ <共>	
5667.08	メカイゴ <児>	メッパ
	メケゴ <児>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(28)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5669.12	me:kaego <古> → さるをかぶるともの らいができる, という俗信がある。	momomora e
5670.47	metjimbō <古> この地では「めやに」 のことを metto と言っている	mekkodziki
5671.00	metjimbō #! <目の悪い状態たと えは赤くはれたり。目やにか 出たりするようなときにメ ジができたと言う>	
5674.59	メカゴ <多・古>	モノモライ
5675.36	メカイゴ <古>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 096		[B 除いた共通語]	(29)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]		A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	メッパ	<新>	
5676.28	meppa	(多く用いる)	mike:go
5676.52	メケゴ	<メカユゴのなまり、メカユゴの意味は、目のかゆい子、めかをかぶるとできる。>	
5677.28	ミケゴ	<昔>	
	ミカイゴ	<今> 多し	
5678.33	モノモライ	<昔>	
	ミカイゴ or ミケゴ	(ミカイゴ or ミケゴについて は説明しなかった。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(30)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5678.59	monomûrai (室員注 ûを $\frac{u}{\cdot}$ とみる)	û = u と o との間
5680.34	mekkoziki	<治療法は櫛の背をあぶ、 てあてる> 〔となりて めしをもらう方法もある〕
5681.41	mekodziki	<上> Imetjimbô
5684.11	mekkoziki	<新><よそからはいった> meka'go
5685.02	meka'go	民間治療法 - <篩を粉 #戸にみせて、#戸神様にたむ< 〔衣類の襟をしばり〕(右眼に

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 096		[B 除いた共通語]	(3/)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	できたら右の)直してくれたらとい やるという]	
	[物をもらって来る。流しから手を 出して……(食物かどうかさきもらした)]	
5685.37 mekago	<mekago さるのようなものを冠 と出来る。mekago - meke:を #戸に半分みせると出る>	
5686.15 mekago	#戸へカゴを持って行って、半分 出して、#戸の神様に、直してもら えれば全部見せると、となえる。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 086		[B 除いた共通語]	(32)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5686.31	mekago	
		〈メカゴとは本来 目のあるサルのこと、ここでは「meke:」と言う。民間治療法に、井戸(cf. 147番)へこの「meke:」を半分見せて直してくれるなら全部見せるといふのがある。「meke:」なくても目の多いものなら節でも何でもよい〉
		〈よそで物をもらって食うと泊る。〉
5686.67	モノモライ	(これを直すには着物のツマを絹糸ではればよいとのこと。)



- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(33)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5687.32	モノモライ <!もらって歩けば通るという 言い伝えあり >	
5688.37	メホオシ <古> 違う眼病かと思ったが 第三者(家族の者)にも聞いて 大体モノモライと同じものと 確認した。	モノモライ
5690.96	hosi'ya dekita (かなり考えたがでてこない) (ya dekitaは除いた—室員)	
5691.37	megasa 古	momomorai
5696.54	monomoral <流しの窓からお米を貰えは 治る>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名		[B 除いた共通語]	(34)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]	
5698.91	monomorai	ミソコシを井戸へ半分見せて。 直ったら全部見せるとなる。	
5712.70	nome	[meboji <<?>>]←(これは そばにいた村長が与えたヒト。 村長は会津の人。)	
5721.27	monomoye	<これにかかった者は、三軒 から一回米をもらってたは たべれは直るぞうだ>	
5723.60	nomme	<子>	monomorae
5751.89	monomorai	井戸様にミソコシザルを見せ ると直る。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(35)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5752.94	monomoraï 小豆が二三度こすり井戸へ おとせは直る	
5760.24	mo'nomore': # 第三者がヒントを与えて 答えた。	
5771.42	N.R. (誘) monomoraē	
6267.68	mebo <新>	innokew'so
6339.37	×ホイト <多>	ホイト
6349.23	ホイト <古>	
6349.80	hoito <多>	meboito
6378.70	×エホ ×ホイト (別に区別なし)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(36)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6383.77	meibo <池へアスキを入れれば直る という> イケはイドのことせ。	
6395.46	メイボ <メイボを直すには、くしを あぶって眼にもってゆく。又、 小豆を井戸に落とす。>	
6401.89	マンジョ <古>	
6402.94	マンジャ <古> <多く使う>	
6403.62	meboita <古>	
	menomoraï <古>	
6406.92	ホエダ <食の事、物をもらう→モ モラエと同義	モ/モラエ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) [ ]は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(37)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6407.28	マルト (誤り)	
	メホ (1959年1月13日再調査)	
6407.43	メホ 石黒著. メエホ, ホイタ.	
6412.91	memomoraし <左襟を糸でくると直す>	
6413.29	memomoraい なおし方 — 自分でワラでく.	
6415.83	hoita (メホイタとは言わないよし)	
6421.79	meboeta <新>	
6421.82	meboito: 分布から短に (室員)	
6422.93	メホイタ <新>	
	モ/モウエ <古>	
6424.20	meboita: <多く用いる>	
	meboito: <二つは上品下品の区別なし>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(38)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6424.89	hoito 直すときのおまじない—hoito hoito derja kuttjaruzo と云って、ワラシベを火にくべ て、パチ、と言えは直る。	
6426.04	meboito: <この方をよく用いる>	hoito:
6426.47	innome <犬の目の意>	おまじないの文句— memo kamisan, memo kamisan, ...sanno meni imo:raga deta, kore o gutto fuite suku:te kure, put.
	hoito <古>	
	imo:ra <最古><イロの注>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (39)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6427.27	hoito: imorai (何れも同様に用いる)	
6429.30	メバチコ メホ	> 両用
6436.33	hoeto	< 他人に贈りものをすると直ると いのがなぜホイトというのかわからぬ >
6436.60	ホイト	< 普 > モノモライ
6437.07	イモ	< 昔から今でも普通に使われる > イモリ ホイト
6439.01	メホ	< 矢新希 > メンホ
6439.17	mebo	< 井戸にミンコシを見せると たら全部見せる >
6440.67	メホイト	[ ] ホイト

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(40)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6441.55	メホエ-ト- or 平板 [Eやeにはならぬ]	
6441.71	メホイトオ → メホエトオに近い	
6448.61	メバチコ <新>	イモウ
6449.19	メホオ 短とみとむ (室員)	
6450.45	メホイト- <ホイト-カテダと言う>	
6456.73	pe:to: <乞食のことをpe:to:と言う> おまじない — 物をもらいに隣 へ行けは直る。	
6457.51	hoito 直すためのおまじない — deba tsuko deba tsuko	



- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	(A) 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B) 除いた共通語	(41)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
6458.08	モノモライ メイホ # <とむに昔から>	
6458.26	メバチコ <新・希>	イモウ
6458.40	メバチコ <新>	イモウ
6458.91	イモウ 坊勢島では イモウ、メバチコ 両用する。	
6459.87	メバチコ <新希>	デバツコ
6460.08	メホイトオ (古)	
	メホイチ (新)	
6461.27	メホイトオ メベイトオ (ホイトという言葉もあるが 単独では用いられないようだ。 用例: ホイトガヤトオスル)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(42)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6461.53	メホ <sup>ハ</sup> イトー (be: ? be: ではない)	
6464.90	マモ <sup>ハ</sup> オラ ?	メベ <sup>ハ</sup> イト
6465.82	メフコ <sup>ハ</sup>	
	メモ <sup>ハ</sup> ラ	
6466.16	メイ <sup>ハ</sup> ホ	
6470.11	mebo	
	井戸へ小豆をおとすと直る。	
	小便のカラカラをつける直る。	
	肩をむむと直る。櫛を熱く	
	して当てると直る。	
6472.53	? (答えず)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(43)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6476.93	メエボ <sup>オ</sup>	付近 mebo 中え メボとするが すこしはなれて me:boもある ので ややきもん。(室員)
6482.75	me:bo	<meibo というのが正しいの だろうか>
6484.43	メエボ <sup>オ</sup> メボ	<これができたときは、まだ出来 かかったとき、まじないに、あす きを目にはさんで、井戸の上に のをき込み、メエボ カトオモウ アスキ ジャツクと言いながら落 すと、すくになおるといふ。>

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(44)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6485.30	メエホ	
		<目のいぼから出来た言葉であらう。小豆(あずき)をメエホの出ている方のまぶたではさんで、#戸をのそき、それを落とすと治癒するというまじないがあった。>
6485.82	メエホ メバチコ メバッコ ?	
		<メエホは赤くはれてうむもの。メボツというのはイホのようになっている。うみませず、そのままでもきえないもの。メバチコ、メバッコは女の子が使うことは、メエホは男の子の使うもの。>

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(45)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6487.43	メエホ	長とみとむ (室員)
6491.49	mebo	(海岸部の大浜部落では me:bo といっている。)
6494.08	メエホ /	<同じ位の大きさで、小さなコブの様な、11つまでむくついでいてなおらないのがある。それをメホツという。(メホツではない。)>
6501.92	メホ	メホとはのはさない。
6505.60	mebo	短とみとむ (室員)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(46)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6507.72	メンボ <新>	メコジキ
6512.67	me:bo・	me:bo とみとむ。ただしとみに。mebo: あれは半長に いみがあるかもしれぬ (室員)
6516.10	モノモライ	<下側にできるもののこと> メンボ
6517.31	メンボ #	(メンボとは言いませんかという質問をしたのに対してメンボと出た。)(モノモライは(失)で、むしろメンボをこの辺りでは使用しているようだ。)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(47)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6517.65	メンホ: <上>!	
6521.94	メホ: <少>	メエホ:
6523.06	mebo <me:bo の形もある>	
6525.05	me:bo monomorai <両方使う>	
6526.08	メンホ: <上のまぶたにできるもの>	
	モノモライ <下のまぶたにできるもの>	
6528.06	mekojdziki monomurae <二つとも昔から普通に使	
	ている。> (二者の区別を聞き	
	出すことが出来なかった。)	
	membo <希>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(48)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6528.64	mem·bo <〔他〕>	monomoraε
6532.70	メイボ	mêboか、meiboかという事を発音意図の問題として探ろうとしたが、なかなか難しそうであった。強いていうと、発音意図は meibo、ア7セントが000型なる故、mêboと聞き易いという事になる。
6532.89	メイボ	メイボと長音化せず
6532.93	メーボ	メイボ me·eboよりは、mêbok といった長音的と思われる。



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(49)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6536.39	membo <まぶたの上に見えるもの> monomoryæ: <まぶたの下に見えるもの>	
6537.06	monomoryæ: membo <上><共> >> <普通は上のように 昔からいらているが、医者 なんかに行くと下のよ に言われる。下は上品 な言い方。>	
6537.21	membo monomoryæ: <memboは上まぶたに出 来、monomoryæ:は下まぶ たに出来るもの。上と下で名 が違う。>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(50)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6539.60	monomurari [mu <sub>u</sub> の如し]	
6542.58	メバチコ (古) 現在全く用いない。	メーホ
6543.05	メンボ <上>	
6546.73	mebotji menbo } <これら同じように使う> mebotjin	
6547.09	metjimo [ ] [F] <一般農家に 多いようだ>	
6547.24	monomorai	<なおたあと 及び かなり なおったものを [metjirin] という。> ([monomori]は 最盛期のものと思われる)

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B] 除いた共通語	(51)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6547.67	monomurai # 最初 metjirin という 解答を得たが<これは目 のふちがひきつれたように なっているもの>とのこと。	
6547.79	metjimbo monomorai	<卑><幾分わるい言葉> <こちらの方が多く使わ れると思う>
6550.96	モノモライ	<多> Mバツホ
6551.18	ナツムシ	<夏に出やすい>
6551.77	mebatjiko	(アクセント「メバチコ」)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(52)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6552.46	mebatʃiko (アクセントは「メバチコ」)	
6552.88	mebatʃiko <古>	mekasa
6552.90	me:bo (「メーボ」)	
6553.22	mebo: (「メボ」 <sup>ː</sup> というアクセントがある。)	
6553.52	mebo (アクセント「メボ」)	
6553.83	mebo mebatʃiko <「メバチコ」の音が新しく 使い出したもので、やはり「メボ」 の音が一般的である。>	
6553.99	mebo (「メボ」)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(53)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6556.03	mebottʃi (〜tʃi と〜tʃi: の中間くらいである。)	
6556.60	メホ <古>	メンホ
6563.43	mebatʃiko <「メバチコ」の方が多し>	mebo
6563.84	mebo <これをよく使う>	
	mebottʃo <あまり使うことはない>	メホとメバチコの contamination と見れば mebatʃiko の音韻に分類する。(室員)
	mebatʃiko [ ]	
6564.51	mebo <古>	
	mebatʃiko <新>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(54)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)		A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6565.56	mebo	短とみとむ (室員)	
6567.79	me:tombo	<古くからの通称>	mebo
6571.34	mebatsu ko	(アクセントは「メバツコ」)	
6572.04	mebatsjiko	(アクセントは「メバチコ」であつた。)	
6573.17	metjatja	<多> } (「上品」という説明は	
	mebo	<上品> } 外来者と話をする時に	
		使うことはだから上品	
		と感じるらしい。ふつ	
		は「メチヤ」である。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(55)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6573.71	mebatʃiko (一般に用いる) meboitʃi 治療法(室員)	
		<p>▶ &lt;「メバチコ」が多くできるとこまるので、すぐ「メボイチ」と言いかえる習慣がある。&gt; (これは「メバチコ」の8の数が多いを意味するので、その呪言として、1の数にかきかえ、少数で「いととめよう」という気持による後次的な命名である)</p>
6574.06	mebo	* (はじめは [korime] と言



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	(A) 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B] 除いた共通語	(56)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	ていたが、くり返し尋ねたら [mebo]を得た。)	
6575.40	mebo・ 短とみとむ (室員)	
6580.06	メバチコ <新>	メホ
6581.52	デバツク <デバツコという人も多い>	
6583.19	imo <「メニイモデケタ」という。> (従って、単に「イモ」というだけで、 指で示せばわかるし、また 「メニイモデケタ」の表現をとるので、 「イモ(いほのこ)というだけで わかるのである。)	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		〔B 除いた共通語〕	(57)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6583.41	imomoraï <古>	
	mebatsjiko <新>	
6583.45	mebatsjiko (「メバツコ」) <これを治すお ないとして、ツケのくしを摩 擦させ熱して患部に当てる。 また薬のシンを目の前で 結ぶとよい。>	
6583.93	imomoraï <新>	imoza'
6584.90	memo:da <古>	mekoziki
6591.02	チバツコ (チバツク、メモ、ままツク などと言う。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(58)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6591.81	メバツコ <少>	デバツコ
6592.35	mebatjiko (アクセント「メバチヨ」)	
6593.30	imora } なおし方: もち米でワン mekodziki [ ] } コロを作って、藁でつた。 櫛で焼いた。	
6604.38	メッコジキ <古>	モノモライ
6607.03	monomorai (Emonomore:)と訛らない 点が相模方言圏内と異なる。 相模原の同項目参照。[-ai] を含む音節について、このような対 応を示す例は多い。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(59)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6610.77	mekoziki [コ<多><古>から]	monomura i
	[2.3軒コジキをみると治る]	
6611.61	mekoziki <mekonzi という人もある>	
6613.54	nome [ふるいの目で向うを見ると直る]	
6617.75	モ/モㇿ	
	<まじないは、井戸にふるいを 半分みせる。そして直ったとき 全部みせる>	
6618.51	toraho:mu <「お日待ち」などのような人の 多く寄る時に、御飯などを もらうとよあるといわれる>(た)	

↓

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ (60)
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	かに「目のふちのできもの」のこと に間違いない。	
6621.34	mekodziki 〈monomoraï から変って そういうようになったんだな〉	monomoraï
6623.28	メコンジキ 〈希〉	モノモライ
6626.30	monomoræĕ 〈ざるを持って隣近所5軒 穀物をもらって歩けば直る。 そのとき橋を渡ってはいけない〉	
6626.46	monomoraï 〈目玉へでけるのは[meboſi]〉	
6626.71	monomoræ: #(この項目でははっさり)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(61)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	[æ:]が出た。おそらく若い頃には、[-ai, -æ]等みな[-æ:]であったろう。)足柄方面は静岡方言との共通性あり。(なお項目 269, 040, 041 参照。)	
6630.82	mekoũziki <子に向かっ> } 隣から何か momomuraï } もらって来ると 直る。	
6632.15	mekondziki ! <目食のこ>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112		
項目名		[B 除いた共通語]	(62)
ものもらい 036		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6632.64	mekondziki <古> menebutsu (説明させるとこれは麦粒腫でないかもしれなかった。)	
6632.88	mekondziki 古	mekodziki
6635.87	mehadako ((OFに分類した) 竇)	
6650.12	memomorai 新	memomorai
6665.25	me'pi: ((OFに分類した一室))	
6667.81	monomorai 誘	
6677.70	meppaitso <新>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(63)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6686.75	meppaitso: <ミソコシジャルを持って井戸の水を覗くとなおる>	
6701.46	monomore: (この語末は少しだけしかのはさない。)	
6711.16	monomore: (?)	
7218.09	innokuso 誘, 朝寝起きに東を向いて、となえごとを言いながら、草履のソリのワラで差すと直る。	
7218.26	innokuso 草履の尻で差すまねをすと直る。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく >( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(64)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7218.58	innokuso <犬の糞の意> 草履の尻で 人に知られないように触れると 直る。	
7229.75	metjimbo <!> okjakusan <新>	
7238.12	innokuso <希>	memorja:
7238.40	innokuso <希>	memorja:
7238.82	innokuso <希>	memorja:
7239.24	hotokisama <とのかかのすわらで突く と直る。>	



- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ (65)
項目名 ものもらい 056		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	monomogae: [ ]	
7239.41	okjakusama <上>	innokuso
7239.85	インノソ	[下] <これを使うものはあるが自分を使ったことはない。>
7246.82	memorai	大豆で目をなでて井戸の中へ 2,3粒投げる。目に大豆をはさんでそれを井戸へ落とす。
7259.22	innokuso memorai <下品>	{ <末子の女の人の人にカマドの

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 056		[B 除いた共通語]	(66)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7266.09	baka	mebura
7275.07	インノクソ	
7279.93	mesimorai	
7303.29	mēibo	
7307.48	memora	meibo

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (67)
036	112		
項目名			
ものもらい 036			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7312.11	monomōrai	メイボなし
7313.34	innokuso	(犬の糞の意)
7313.68	mēibo	(多)
	hōito	(多少ふざけた言い方)
7320.59	oşimesama	[昔から 荒神様の燥を つけると、すぐうんで 早うよくなるという。] (老人は子供の時したという。)
7321.46	oşimesama innokuso moraimon }	#筒にシヨオケ(さる)を 半分見せて、何とか言うと 直る。

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ  (68)
036	112		
項目名			
ものもらい 036			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7322.21	oçimesama <女が使う>	
	innokuso <男が使う>	
7322.81	monomorai (多)	memorai
7323.17	hoito (物を人の意)	monomōrai
7324.24	hoito memōmōrai (ホイトは「食」である。 モイモイの転化か)	
7324.96	inno kuso (聞くとあり)	mōmōrai
7326.41	memorwé éはや狭いe	
7329.39	me:ibo 短とはしにくいがすぐ いし分布からむ meiboに 含ませよう。(室員)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (69)
036	112		
項目名			
ものもらい 636			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7329.57	meibo <きちんといえは meibo で(は) >	mebo
7330.31	オヤアサン インノクソ <F>	
		<犬糞をつけたら治るとい>
7330.77	innokuso <希>	naiwazu
7332.97	innokuso ogimesama	
		(innokuso は人が嫌 うので、オビヤアサンという。)
7338.48	meibo	長とみとむ (室員)
7340.24	innokuso <稀>	naiwazu
7340.27	naiwazu 又は innokuso	
		(区別せず両様にいう由、名 は わすの方がいづらか上品か。)

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(70)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7341.42	naiwazu 名言わずの意であるが近傍で言われる nja:wazu の形は出なかった。	
7341.47	innokuso 〈古.下〉	memore:
7342.72	memore (innokuso を聞いた方知っているし使う人もいるとのこと。ogimesan も少ないけれど同様という。)	
7349.07	mebo 〈beibo no tsumori dafo:〉と聞いていた。(beibo は meibo であろうが発音はこうきこえた。)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(71)
ものもらい 036			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7350.21	innokuso <子><下>	metoppo:
7350.96	innokuso memorja:	
	<下にできたのがインノクソ マ上にできるのがメモリア だ。メモリアのオカたちが わるい。咒語をのべマ下から 吹きあげたりする。>	
7352.14	インノクソ <古・希>	メシ
7352.38	ogimesan (上品な語)	innokuso
7353.03	menebuto (多い)	innokuso
7353.51	オヒメサン <?>	インノクソ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(72)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7354.23	インノクソ <若い女性はオヒメサンという>	
7355.48	urjimon <希>	memorai
7356.70	innokuso <犬の糞なり>	
7359.78	mebo <!>	
7361.17	メエル <新>	インノクソ
7361.82	more:	
		くこのわらで突いて膿を 出すと直る。
7362.42	インノクソ <多少卑>	オヒメサン
7363.12	インノクソ (F)	オヒメサン
7363.59	オヒメサン # (下まぶたにできたものを	





- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ (73)
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	オヒメサン, 上まぶたにできた ものをインクソと言いつけ ることが多いという。総称は オヒメサンであろうという。)	
7364.34	オヒメサン <希>	
7372.03	オヒメサン # <男女ともにオヒメサンという>	
7372.27	オヒメサン <新・希>	インクソ
7372.96	オヒメサン <[インクソ]>	
7373.56	オヒメサン (新・希)	インクソ
	モライ (新・希)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(74)
ものもらい 036			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7373.92	オヒメサン <新>	インノクソ
7373.99	オヒメサン <新>	インノクソ
7374.15	オヒメサン [ ] [新]	インノクソ
7377.27	meibo <古>	meinebuto
7381.38	オヒメサン <新, 希>	
	インノクソ #	
7381.47	NK <現地の他の人によつてしらべたところでは、オヒメサン、インノクソであろうと推定する>	
7382.01	megasa <櫛を畳にすゝて突くとなる>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112		
項目名		[B 除いた共通語]	(75)
ものもらい 096		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7382.58	インノクソ <女・子供は オメサンという>	
7384.16	inumorai inumorja: (rai が rja: となるのが この土地の方言音)	
7386.63	innokuso menebuto	<日常語> <新>
7390.26	センモン	<希> モリヤア
7390.70	モライツオ	<希> センモン
7391.94	メフンジ	(御所浦村横浦島では メバチコ, モリヤアフンジン という由。(横浦島の姥姿に船中マキ)

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( ) [ ]は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 056		[B 除いた共通語]	(76)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7392.33	オヒメサン <新> (?<失>)	インノクソ
7392.94	オヒメサン <新> <きわめて希>	インノクソ
7395.25	innokuso <古>	memebu
7400.11	mebo <眼球にできた点は maruto という。>	
7400.15	mebo <meibo なのだろうか mebo とだけいう。>	
7401.60	meibo mepi ibo ga dekita の ようにいう。	
	memo ibo この注により (memo) は ibo の説明とみる。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ (77)
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]		A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7403.21	me:ibo	[mebo]	
7404.12	me:bo	(me-ibo という意識はないらしい。)	
7414.87	meibo	<古>	mebo
7416.34	mebo(:)	<かまとのチリをつけたメボツケと3度くりかえしていうと直るといったものだ>	
7431.08	maruto	<maruto ga deta> (どうにいう由。)	
7500.24	メバツク メバチコ <子>	(共通語という意識からである。)	

▶ (メバツクという人もある。)

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	(A) 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 096		[B] 除いた共通語	(78)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7500.43	デバツク 〈少〉	デバツコ
7500.66	デバツク (メボシともいう。)	
7502.89	monomorai 〈古〉	mebatjiko
7502.91	メフクイ	〈目の上まぶたにできたもの〉
	イモク	〈目の下まぶたにできたもの〉
		以上、区別して呼んでいる。
		〈総称名はない。〉
7504.27	monomorai あるいは [共] か?	
7511.66	メフクイ	〈多く用いる〉 デバツク
7512.43	メフクイ	〈古〉 モノモライ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(79)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7521.16	メバチコ <メボシという人もある>	
7521.79	メバチコ <ゴキノソキともいう。>	
7522.94	ゴキノソキ <ゴキは椀。椀の冬きの意>	
7523.30	メバチコ <ゴケノソキ, メバチとも いう人がある。>	
7533.11	メバチコ <イモモライ, ゴキノソキ という人もある。>	
7659.31	monomure: 誘	numme
7659.51	numme 誘	
7659.53	monomorai 目のなかに来るのを numme と言う。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(80)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7659.62	numme 誘	
8229.96	naraji <普通> ("名無し"の訛 りであろう。)	
	innokuso <希>	
8239.31	innokuso ennokuso * (語頭のイはエに発音する 傾向。その場合は [e]。 本来のイは [je])	
8300.11	ヂェンモン (上)	
	ヅンジン (下)	
8300.80	ヂェンモン (卑語というほどでもないが 気安いことはたいう。)	メモラッ



- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 03期		[B 除いた共通語]	(81)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8301.19	メネフト <古くからいらている>	
8301.76	メモレ <古>	モノモライ
	インノクソ <古>	
8302.91	インノクソ # <オヒメサンとは言わず>	
8303.13	immokuso (多い) <meta, およびその 卑語 metaʃippi: me taʃikuriN. ふっふっでき て、たたれるもので immokuso とは別 >	
8303.47	インノクソ メネフト 希	[オヒメサン]被調査者は知らない。

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(82)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8303.84	ナナシ <新>	インノクソ
8306.04	mebo <普通使う>	innokuso
8306.42	innokuso ! <老人が多く言う>	menebu
8310.87	menettsu <そんざいに発音する>	menehuto
8311.41	namotazu <希> (名もたずの義)	innokuso
8312.33	menetto <古> } (宮え城町の調査は innokuso <新> } 新古が逆である)	
8312.75	menettsu メネフトの訛形。	
8313.84	memore <多> …この方を多く使うの意	immore
8315.46	meibo ? (色R聞いたが その他の)	

↓

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(83)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
		形は聞き出せなかった。第三者も metbo と答えた。
8321.58	innokuso	〈従来の方言として用いて来た〉
	memebuto	〈新〉〈現在はこうに言う〉 (上村田, 大口市山野と逆になる)
8331.17	innokuso	〈memegito という人がある〉
8331.98	innoko	オカマサマのねんどのなかのワラをとって innoko に近づけると直る。

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(84)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8332.59	immoe (immore から来た)	
8334.63	memore <多く使う>	mono
8335.11	meibo <最近のことは>	memore
8335.83	imore <古>	mebatjiko
8341.12	innobebe [ ]# 同町出身嫁の助言	
8342.35	menesito <希>	baka !
8342.69	immore <山のハイハイカズウを折ると汁が出る。これを口に含んで吹きかけると直るとい。>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ (85)
036	112	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	
ものもらい 036			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8352.92	innokuso <頭の毛を2本よまつつく。 カマドの土の中のワラをとまつく>	
8372.47	innokuso <古> immore <新>	
8373.43	imore (ⓐinnokusoという。浜川 氏はどうかと聞いたがハッ キリしない。)	
9322.52	meibo <多し>	innokuso
0247.31	ibire <新>	ibiri
0256.76	ibiri (・半長音)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい		(B 除いた共通語)	(1)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0840.33	monomorai <少>	meppa <多>
0873.94	monomorai <あとで言うようになった。>	meboji <子どもは3.5才ばかり そういていたのを使った。>
		hoji <子どもの時>
		meppa <そのあとで多くつめた。>
1773.27	モノモライ <新>	メッパ
2750.44	モノモライ <新>	メッパ
4609.25	monomorae [新]	morlmorl
4629.43	monomorai <上>	monomora
4666.42	monomorae <共>	meΦunguri

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112		
項目名		[B 除いた共通語]	(2)
ものもらい 036		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4712.54	monomole: <新>	hoedo: <本当は乞食の意だがものもらいの意に転用したもの>
4723.14	monōmoræ <新>	baga mono 動詞的にはmono deru とはい。
5599.41	モノモライ <他>	メコジキ
5605.70	monomoraē <新>	monomone <古>
5611.81	monomorai (上) (これを最初に答えた)	その他

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(3)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5623.42	monomorai <共>	monogyure
5625.91	monomorae <希><新><共>	meppatsu[monomurae]
5631.75	monomorai <新>	mekkoziki
5633.96	monomorai <共>	koziki
5639.80	モ/モウエィ <新>	メカコ <古>
5642.67	monomorai [ ] <上>	mekoziki
5645.43	モ/モライ <新>	メカコ <古>
5647.56	モ/モライ <新>	メカコ <古>
5652.06	monomorai <上>	mekodziki
5652.37	monomorai <共>	[mekoziki]



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (4)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5652.96	monomorai <上>	mekkoziki
5653.60	monomorae <上共>	mekago
5653.65	monomorae <新>	mekago
5661.68	monomorai <共> <おとなしい感(が)がる>	mekkoziki
5663.68	monomorae <共>	mekago
5670.47	monomorai <新しいことは>	mekkoziki
		metjimbo <古> この地は 「めやん」のことを mettok 言っている。
5671.38	monomorai <共>	mekkoziki

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(5)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
5672.75	monomorai <希>	mekodziki
5680.98	monomorai <共>	mekodziki, metjimbo
5684.11	monomorai <新> <よそからはいた>	mekago
		mekkoziki <新> <よそからはいた>
5686.31	monomorai <希>	mekago <メカゴとは本来の あるサルのこと。こゝではmeke: と言う。民間治療法に、#戸へ このmeke:を半分見せて直け くれるなら全部見せるというの がある。meke:でなくても

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 056		(B 除いた共通語) (6)
		(C 除いた特殊語)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
		目の多いものなら節で も何でもよい> <よそで物をもらって食 うと治る。>
5689.98	monomorai <共>	#monomore
5690.12	monomorai <新・共>	mekkoziki
5692.53	monomorai <共> <最近言うようになった>	mekoziki
5703.70	monomore: <新>	nomme
6349.23	モ/モライ <新>	ホイト <古>
6401.89	モ/モラエ <新>	マンジョ <古>

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(7)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6402.94	モ/モウエ <新>	マンジヤ <古><多く使う>
6415.83	momomorai <新・上・稀>	hoita (メ・イタとは言わ ないよし)
6423.75	momomorai <聞いたことのある程度>	meboito:
6509.43	モ/モライ <他・希>	メコジキ
6517.31	モ/モライ (共)	メンホ (メンホとは言いませ んかという質問をしたの に対して、メンホと出た。) (モ/モライは(英)でむ しろこの辺りではメンホ を使用しているようだ。)

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語) (8)
		[C 除いた特殊語]

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6519.43	モノモライ <他>	メコジキ
6529.15	モノモライ <共>	メコジキ
6600.53	monomorai <共上>	mekodziki
6601.25	monomorai <共上>	mekoziki
6631.53	monomurai 新	mekoziki
6633.27	monomoræ: 新	menebutsu
6635.20	monomorai 新	mebosi
6635.87	monomorai 新	mehadako
6636.05	monomorai 新	mebosi
6642.58	monomorai 新	mekoziki

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(9)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6643.15	monomōrai 上	mekōziki
6643.16	monomōrai 新	mekōziki
6645.01	monomōrai 新	mempā: ,mekōziki
6662.38	monomōrai 上	mē'pa
6665.25	monomōrai <新>	me'pi:
6686.75	monomurai <新>	meppaitjo: <ミソコシ ルを持って井戸の水を覗 <となおる。>
7335.93	monomōre <希>	memore:
7357.31	monomōrai <新>	meibo

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語] (10)
		[C 除いた特殊語]

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7373.23	モノモライ <希>	インノクソ
7390.75	モノモライ <新>	ジェムモン
7513.01	モノモライ <共>	メコジキ
7513.69	モノモライ <共>	メコジキ
7523.05	モノモライ <共>	メコジキ
7523.27	モノモライ <やや新しい語のように 思う。>	メコジキ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(1)
ものもらい			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1859.84	mebosi <眼球にできる>	meppa <今も> *
2722.67	メボシ ? (目の玉に出るのかな)	メッパ
2771.64	mebosi <なかなか直らない病気>	*nome
4638.43	jare jare [ ] <下まぶたに出来たものに 限る。>	momore moremore <どちらも縦称 であり。又は 上まぶた にできたものもらい である。>
4659.85	moguro <立派なことは> (ホクロをモノモライの上品な 言葉だといったが、考えちがいか)	monomoral



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (2)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4666.17	Φungwuri	meΦungwuri
4687.01	tʃo:dʒiN <上まふたにできたもの> tʃo:tʃiN (改まった発音)	meTpaʒm <下まふたに できた物>
4711.41	Φoedonomé [ ] <上睨に出たとき> tonosamanomé [ ] <下睨に出たとき> (直り方が 上睨と下睨の 場合に相違があるので この様に区別して <sup>ホエト</sup> 食の メ殿様のメという由。 その <u>ノメ</u> が 総称となった。)	[nomé] <総称>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) [ ]は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)
		(C 除いた特殊語) (3)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4730.45	mengo <上睨にでたもの>	baga <総称><下睨に でたもの>
4736.63	riko <利口の意...下のまぶたに でたもの>	baga <馬鹿の意...上 のまぶたにでたもの>
5471.59	マナト <大きいもの>	メマンジョ <small>マ</small> <小><でたものの 大小によつてちがった 言い方をする。>
5594.37	mame	mebo 優位。
5611.81	medambe <昔 被調査者が使い、今 も使う。>	その他

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 086		〔B 除いた共通語〕 (4)
		〔C 除いた特殊語〕

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5624.85	m <sub>u</sub> γ <sub>u</sub> m <sub>u</sub> 'γ <sub>u</sub> <古>	meppa'tsu
5636.74	カゴメ ?	メカゴ *
5694.79	メ <新><それほど使わない>	メッコジキ
5699.42	mezirinoodeki #	monomorai *
6421.79	manato 第一に答えた。	meboeta <新>
	mehatji <多>	
6437.07	メホ: <新共希><医師かいうことは>	イモウ <昔から今でも普通に使われる> イモリ, ホイト
6486.50	メホッコ とむい (室員)	メホ:
6517.65	ウチバン !	マンホ: <上>!

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語] (5)
		[C 除いた特殊語]

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6543.05	マメ <下>	メンボ <上>
6547.09	metʃirin <町中の人に多く 幾分品かよい>	[metʃimbo 下]...<一般農家に多いようだ>
6583.41	mētʃiko <新>	imomorai <古> mēbatʃiko <新>
6584.28	monokari <古> <自分は使ったことがない>	mebo:
6677.70	imbo sui <古>	meppaitʃo <新>
7239.85	オバサマ. オン <sup>ハ</sup> サマ <下にできたのがオバ サマで上にできたのは オン <sup>ハ</sup> サマという。>	インノク [下] <これを使 ったことはない。>

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		〔B 除いた共通語〕 (6)
		〔C 除いた特殊語〕

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7258.64	メッパ	メモライ
7268.45	メッカ	メリヤ
7275.24	インシッポ	メラ
7279.93	mekkan	[mesimorai]
7331.27	oemōn (多)	inno kuso
		otošimesan
7344.99	mebo:gi 〈上〉	innokuso
7349.86	gibo	me:bo
7351.09	ongosan	memoro
7351.68	ongō ongōsan	mémōre, ošimēsān

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(7)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7353.51	デキモン	オヒメサン <?> インノクソ
7363.85	オデケ # <希>	インノクソ !
7364.34	インノヘ	オトヒメサン <希>
7365.67	mejasibo <古>	mamoraï
7374.75	ネフト # (希)	メネヒ, インノクソ
7380.74	インノツヒ	モイモライ, インノクソ
7382.58	オデケ	インノクソ <女子供はオヒメサンという>
7390.26	モイモライ <希>	モイモライ, センモン <希>

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい <small>633</small>		[B 除いた共通語] (8)
		[C 除いた特殊語]

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7390.70	デケモン #	ゼンモン, モライソ <sup>オ</sup> 〈希〉
7391.44	メモ <sup>ハ</sup> ク <sup>ン</sup> ジン	ク <sup>ン</sup> ジン, メク <sup>ン</sup> ジン メネフト
7500.66	ハバチコ <新> (メボシともいう。)	デバツク
7523.05	ゴケノソキ ! <こういう人もある。>	メコジキ
8302.19	メカサ <?> <目の中のまきもの腫物 かも知れない>	インノクソ #
8303.13	jotenasi (少い)	innokuso (多い) <meta および その卑語 metassippi <sup>ie</sup> ; metassikuriN りつぷつてきて ただれるもので innokusoとは別>

